



初の全国大会出場を決めた

# 池新田高校剣道部



## PROFILE

池新田高校剣道部は男子が2年生2人、1年生8人。女子が2年生2人、1年生1人。団体戦に出られるのは男子だけだが、稽古では一丸となり研さんし合う。

## 全国大会に向け変革を

池新田高校剣道部は1月14日、静岡県高等学校新人体育大会で男子団体戦準優勝となり、3月27、28日に開催される全国高等学校剣道選抜大会への切符を勝ち取った。剣道部の全国大会出場は池新田高校99年の歴史で初の快挙だ。

主将の鈴木寛也さん(2年)は「全国出場の夢がかないうれしい。でも、県大会決勝では相手に太刀打ちできなかった。目標の全国ベスト8入りのためにまだまだ進化したい」とさらなる高みを見据える。

県大会までは守りのスタイルで「一本を取られない」ことに重点を置いてきたが、全国大会では守りに徹するだけでは勝てない。受ける剣道ではなく攻める剣道へ。スタイルの変更は容易ではなく、2月に参加した2つの大会ではどちらも1回戦負け。2カ月という短い期間でどこまで攻めのスタイルをものできるかが勝利の鍵となる。

## 己を見極め力を磨く

「剣道は教わったことよりも、自分の感性や自分で研究

したことが力になる」と顧問の菊池竜平先生が導入したのが「剣道ノート」だ。その日何を意識して稽古に取り組んだのか、自分の改善すべきところはどこかなど、自分の考えを毎日書き留めて研究する。部員たちも「ノートのおかげで目的意識がはっきりする。先生のアドバイスを自分がどう受け止めたのか文字にすることで身に付いた」と効果を実感している。自己研さんを欠かさないことが強さにつながっている。

## 活躍を見せて恩返しを

池新田高校剣道部は地域に支えられている部活だ。顧問や部員の家族はもちろん、時間を見つけ指導に来てくれるOBや地元企業の剣道部員、下宿生に食事を提供してくれる料理店など、さまざまなかから支援されている。部員たちは「支えてくれる人々への恩返しを込めて、県の代表に恥じぬ堂々とした姿と活躍を見せたい」と声をそろえる。

周りへの感謝を忘れず稽古に励む部員たち。攻めの剣道をものにし、全国の舞台での活躍を期待したい。